

田中聡前沖縄防衛局長の問題発言に関する抗議決議

1 1月28日、田中聡沖縄防衛局長が、普天間基地「移設」先の環境影響評価書の提出時期を問われ「犯す前に犯しますと言いますか」と、性的暴行などに例えた看過できない発言を行ったことが報道で明らかになった。

さらに一川防衛大臣は、普天間基地返還問題の発端となった1995年の少女暴行事件に関し「中身について詳細は知らない」と重大な国会答弁をしている。この大臣発言は、前沖縄防衛局長の問題発言とともに到底看過できるものではない。

県民は戦後66年、米軍基地あるが故に、米兵による少女暴行事件や県民の尊い生命が奪われた事故・事件など、筆舌に尽くしがたい苦しみと痛み、人権蹂躪を強いられている。

防衛省の沖縄のトップである沖縄防衛局長の発言は、この県民の長年の耐え難い苦痛を嘲笑い、女性と県民を侮辱し愚弄するもので言語道断である。また、関係閣僚を相次いで沖縄詣でさせ、「沖縄の負担軽減」「誠心誠意、理解と協力を求める」と低姿勢を装いながら、県民の頭越しに新基地建設を押し進める野田政権の強権的姿勢を如実に示している。

よって本町議会は、田中聡前沖縄防衛局長の発言と野田政権の強行姿勢に激しい怒りをこめ抗議し下記のことを政府に強く求めるものである。

記

- 1 更迭した田中聡前沖縄防衛局長の発言の撤回及び謝罪と、一川防衛相・野田首相の責任を明確にすること。
- 2 普天間基地の即時閉鎖・撤去、嘉手納統合など「県内移設」反対の県民の総意を尊重して、環境影響評価書の提出を断念し、米国と日米合意の見直しの交渉を行うこと。

以上、決議する。

平成23年12月8日
沖縄県嘉手納町議会

《あて先》

内閣総理大臣 防衛大臣